

各位

令和6年度上半期 経営情報の開示について

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、令和6年度上半期の経営情報について、以下のとおり公表いたします。

記

1. 主要業績数値

〔預貸金状況〕

(単位：百万円)

	令和6年9月期	令和6年3月期 (前期)	増 減
預金積金残高	2,326,216	2,297,396	+28,819 (+1.25%)
貸出金残高	1,201,906	1,196,170	+5,735 (+0.47%)

〔損益状況〕

	令和6年9月期	令和5年9月期 (前年同期)	増 減
業務純益 (※1)	2,554	2,599	△44 (△1.71%)
実質業務純益 (※2)	2,554	2,599	△44 (△1.71%)
コア業務純益 (※3)	2,510	2,562	△51 (△1.99%)
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	2,607	2,998	△390 (△13.03%)
経常利益	3,339	3,106	+233 (+7.50%)
当期純利益	2,450	2,256	+194 (+8.60%)

〔健全性〕

	令和6年9月期	令和6年3月期 (前期)	増 減
純資産	168,758	169,091	△332 (△0.19%)
自己資本比率 (単体)	15.28%	15.35%	△0.07ポイント
不良債権比率	2.88%	2.93%	△0.05ポイント

※ 単位未満切捨て表示。

※ 不良債権比率は金融再生法ベース。小数点第3位を四捨五入して表示。

- ・ 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。
- ・ 実質業務純益とは、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
- ・ コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因（一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益）を除いたものです。

2. 業績コメント

〔預貸金状況〕

- 預金積金残高は、定期預金や普通預金などの増加により、前期末比 288 億円増加の 2 兆 3,262 億円となりました。
- 貸出金残高は、住宅ローンなど個人向け貸出を中心に増加し、前期末比 57 億円増加の 1 兆 2,019 億円となりました。

〔損益状況〕

- 国内金利上昇により貸出金利息、預け金利息は増加しましたが、預金金利引き上げによる預金利息の増加や、ベースアップ実施による人件費増加などにより、投資信託解約損益を除くコア業務純益は前年同期比 3 億円減少の 26 億円となりました。
- 有価証券関係損益の改善や不良債権処理費用の減少などにより、経常利益は前年同期比 2 億円増加の 33 億円となりました。

〔健全性〕

- 自己資本比率は前期末比 0.07 ポイント低下の 15.28%となりました。信用金庫に求められている国内基準（4%）を大幅に上回っています。
- 不良債権比率は、前期比 0.05 ポイント低下の 2.88%となりました。

以 上